

管機連Daily News

2026年1月14日(水)

« 今日の主なニュース »

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆企業倒産25年1万件超、12年ぶり高水準 人手不足理由が最多

・企業の新陳代謝が進行。2025年の全国の企業倒産件数が2年連続で1万件超。人手不足が深刻化するなか、賃上げ圧力に耐えられない中小・零細企業の退場が急激に増加。東京商エリサーチは5年の倒産件数(負債額1000万円以上)が前年比で3%増加し、1万300件だったと発表した。

◆11月の経常黒字、10%増の3.6兆円 貿易黒字が拡大

・財務省が発表した2025年11月の国際収支統計(速報)によると、海外とのモノやサービスなどの取引状況を示す経常収支は3兆6741億円の黒字。黒字は前年同月から10%増え、11月としては過去最大だった。貿易黒字の拡大が寄与。貿易収支は6253億円の黒字となり、前年同月より5倍超、黒字幅が拡大した。

◆12月街角景気、2カ月連続悪化 物価高が年末商戦に影響

・内閣府が発表した2025年12月の景気ウオッチャー調査(街角景気)は現状判断指数(DI、季節調整値)が前月比0.1ポイント低い48.6。悪化は2カ月連続。基調判断は「持ち直している」で据え置いた。小売業を中心に長引く物価高が年末商戦に響いた。家計と企業の動向がいずれも前月から0.3ポイント低下。求人は旺盛で雇用は1.4ポイント上昇。

« 業界ニュース »

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆水道・下水道事業の黒字17%減 24年度、温泉は値上げも

・2024年度の地方公営企業決算で、水道・下水道事業の総収支は最終黒字を確保したが、合計額はともに前年度から2割近く減った。人件費増加や設備の更新費用がかさみ、長期的な運営は厳しさを増す。市や町が給湯する温泉事業も同様で、料金を引き上げる動きが出ている。

◆11月有効求人倍率、建設は5.3倍 新規求人数は5.9%減

・厚生労働省が公表した2025年11月分の「一般職業紹介状況」によると、建設業(採掘含む)の有効求人倍率は5.31倍で、前年同月比で0.21ポイントの低下。新規求人倍率は8.34倍で、同0.07ポイント低下。全産業の有効求人倍率は1.18倍で、前月から横ばい。建設業の新規学卒者を除く一般新規求人数は6万1501人で、前年同月比5.9%の減少。

◆公正取引委員会1000人体制へ デジタル寡占・下請け取引の対応強化

・公正取引委員会は2026年度から職員数を1000人体制にする。巨大IT企業の寡占状態にあるデジタル市場の分野で対応力を向上させるほか、下請け取引の適正化も進める。IT分野に精通した理系人材や、競争政策分野の法令に詳しい弁護士などを積極的に採用し、陣容を手厚くする。有識者などからなる委員も含めれば初の1000人体制となる。

« 注目商品 »

■三菱電機の新型冷蔵庫、凍ったまま食材碎ける機能 冷凍室全エリアに

・冷蔵庫「中だけひろびろ大容量」シリーズから7機種を発売する。前モデルでは低温で冷凍する機能は上段しか使えなかった。野菜を袋に入れて冷凍しておき、事前に操作パネルでボタンを押すことで、冷凍室のどの場所でも野菜を碎ける状態で冷凍できる。



■パテ埋め不要防火区画貫通部材、空調でも対応可能に

・積水化学工業、パテ埋め不要防火区画貫通措置部材「フィブロックNEO」、すでに認定を取得している電気用途に加え、新たに空調用途でも使用できるよう国土交通大臣認定を申請。2026年春にも取得できる予定。



■アイリスオーヤマ、水洗いできる「気化式加湿器 enemist」

・当社の加湿器として初めて、工具を使わずに本体からファンやファンカバーを取り外し、水洗いできる「気化式加湿器 enemist(エネミスト)」を発売。ヒーターを使用しない気化式採用で吹き出し口が熱くならず、小さな子供がいる家庭でも安全に使用できる。

